

「技術士合格」の先に…



取得した資格：技術士（建設部門、総合技術監理部門）
資格取得年度：令和元年度他

はら だ たかし
原 田 貴*

1. はじめに

技術士の取得は、民間事業者の方であれば、会社としては公共工事評価が上がる、個人としては資格手当がもらえるなど、大いにメリットがあります。それでは、公務員がこの資格を取得するのは何のために…それは後ほど。

2. 私自身の受験動機

まずは私の受験動機についてお伝えします。

1) 施工計画、施工設備及び積算

大学卒業後、10年間ゼネコンで働いていたこともあり、会社から取得を求められていた。この頃は「時間が取れない」を理由にあまり真剣に取り組めておらず、取得まで6回の受験を要した。

2) 都市及び地方計画

都市計画課の在籍が5年を経過したとき、将来(退職後?)のためと考え挑戦。たまたま問題との相性も良く、一発で取得。

3) 総合技術監理部門

管理職になった2年目、一年間の管理職での経験を活かし、挑戦。2回目のチャレンジでギリギリ取得。

3. 試験に向けたポイント

ここからは、試験に向けた考え方を中心に、みなさんにお伝えします。

1) 経歴書の記入から試験は始まっている

4月に記入する受験申込書への記載、ここから既に試験は始まっています。具体的には、ここの記載内容が口頭試験に繋がります。口頭試験をイメージし、あなたがどのような技術者なのか、得意分野は何か、質問してもらいたい内容は何かを意識して記載してください。

2) 業務内容のポイント

自分の業務内容のうち、どれがもっとも技術士にふさわしい内容なのか、みなさん悩まれると思います。次の点をチェックしてみてください。

- ・課題と解決策を2～3点あげることが出来るか
- ・解決策の技術的根拠が口頭試験で示せるか
- ・解決策が単純すぎないか
- ・他の担当者であれば異なる解決策になるか（あなたのオリジナルか）

3) 文章力ではなく、知識が問われる

文章が拙くても確実に答えが記載されていれば良

*豊橋市 水道管路課 主幹

いです。箇条書きを駆使するのも一つの方法です。ポイントは、加点対象となる項目（キーワード）をいくつ記載できるかです。

4) 採点者に読んでもらえなければダメ

読めないような文字や、言いたいことが分からないような文章ではダメです。是非、専門知識を持たないご家族の方でも、読んである程度理解できるような文章を心がけてください。パートナーがいる方は、ぜひ自分の論文を読んでもらってみてください。

4. おわりに～私からのアドバイス～

技術士資格の取得の最大のカギは、モチベーションをいかに保つかです。はっきり言って、一回（一年）の挑戦で取得できる方は稀です。実際に建設部門での合格率はわずか10.3%（令和2年度）です。この数字だけ見ると、心が折れそうになります。

しかし実際にここまでの数字になるのでしょうか？私のこれまでの経験では、実際に試験会場に来た受験申込者は、全体の75%です（実際に統計があります）。その中で、真剣に試験対策をしてきた方はどれほどいるのでしょうか？過去の私のように、とりあえず試験会場に来ただけの方が恐らく半数近く…

そう考えれば、全体の75%×0.4=30%。真剣に試験対策までできた、全体の30%にまで入ることが出来れば、合格者は3人のうち1人に！かなり現実味が帯びてくるのではないのでしょうか。

さて、最初の問いに戻ります。

なぜ公務員が技術士の資格を取得するのでしょうか。

資格取得により、文章力や専門知識の習得などのスキルアップもあります。しかしそれ以上に、合格を手にした時、あなたはきっと達成感が得られることでしょう。この試験を通じて、経歴書の作成から始まり、筆記試験や口頭試験への対策や本番など、あなたは様々なことを経験するはずで、そのような貴重な経験を得た結果、合格を勝ち得た瞬間、資格取得による「誇り」と「ステイタス」といった、自分に対する自信のようなものを手に入れるのではないのでしょうか。

さらに、その後の技術者人生の中で、「技術士」であることが必ず付いてまわります。技術に対して自信を持ったあなたと、そうでないあなたでは、人としても、技術者としても、大きな違いが出てくるのではないのでしょうか。少なくとも、私はそのように考えます。

最後になりましたが、これから技術士の取得を目指すみなさんが、技術士合格とともに、大いなる自信を勝ち取られることを心よりお祈りしております。

【著者紹介】 原田 貴（はらだ たかし）

平成8年 民間会社（ゼネコン）に就職。平成18年 豊橋市入庁（土木職）。建設部土木管理課、道路維持課ならびに都市計画部都市計画課を経て、令和3年より現職。